



2013年5月21日
株式会社ぐるなび
東日本旅客鉄道株式会社

「ぐるなび」の新型タブレット端末で「Suica」が利用可能となりました。

- ◇ Android™を搭載したタブレット型端末としては「初めて」Suica 決済を実現しました。
- ◇ 「ぐるなび」のポイントサービスと Suica 決済が新型タブレット端末一台で可能となりました。
- ◇ 「ぐるなび」と「JR 東日本」は連携して Suica の加盟店を拡大します。

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：久保 征一郎、以下「ぐるなび」）と東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：富田哲郎、以下「JR 東日本」）は、本日より「ぐるなび PRO 認証システム 3.0」（以下「ぐるなびタッチ（新端末）」）で Suica 決済をオプションとして利用可能としました。

両者は「ぐるなびタッチ（新端末）」を通じて Suica の加盟店を拡大します。

1 「ぐるなびタッチ（新端末）」の Suica 決済メリット

■ お客さま

- ・ Suica が使えることで決済手段が増えました。
- ・ Suica 決済時に「ぐるなびスーパー『ぐ』ポイント」が付与される予定です。

※ぐるなびスーパー『ぐ』ポイント

ぐるなび加盟店のレストランやオンラインサービスの利用で貯まり、お支払いなどでご利用いただけるポイントです。ぐるなび会員登録（無料）が必要です。

■ ぐるなび及びぐるなび加盟店

- ・ Suica による決済情報等のデータを活用したマーケティングの強化に今後取り組みます。

■ JR 東日本

- ・ 外食業界に強みを持つ「ぐるなび」の営業力で Suica の加盟店を拡大します。

2 「ぐるなびタッチ（新端末）」の特徴

- ・ Android™を搭載したタブレット型端末としては「初めて」Suica 決済を実現しました。
- ・ 全国約 10,000 店舗のぐるなび加盟店に既導入の「ぐるなびタッチ（現行端末）」の後継機です。
- ・ 株式会社トランザクション・メディア・ネットワークスによるクラウド型の Suica 決済方式を採用することで低価格で高セキュリティな Suica 決済を実現しました。
- ・ 従来「ぐるなびタッチ（現行端末）」設置店舗が Suica 決済を希望する場合には、「ぐるなびタッチ（現行端末）」と「Suica 決済用端末」がそれぞれ必要でしたが、「ぐるなびタッチ（新端末）」一台で「ぐるなび」のポイントサービス利用と Suica 決済が可能となりました。

3 参考

■ ぐるなびについて

1996 年に開設された日本最大級の飲食店情報検索サイト。約 50 万店の飲食店情報を掲載し、外食の“オフィシャルサイト”として信頼され、3,400 万人のユーザーに利用されている。

■ Suica の概要（2013 年 4 月末時点）

(1) 発行枚数	約	4,298 万枚（うち電子マネー対応 4,072 万枚）
(2) 利用可能店舗数	約	210,590 店舗
(3) 1 日あたりの利用件数（過去最高値）	約	347 万件（相互利用先を含む）

※「Android」は Google Inc. の商標または登録商標です。

本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブ、国土交通記者会にお届けしております。

【お問い合わせ先】

株式会社ぐるなび 総合政策室 広報

03 (3500) 9700

東日本旅客鉄道株式会社 広報部 報道グループ

03 (5334) 1300

ぐるなびタッチ端末の比較

■ぐるなびタッチ(現行端末)

「ぐるなび」のポイントサービスを提供します。



■Suica決済端末

Suicaの決済を行います。

ぐるなびタッチ(新端末)



係員操作画面



R/WでのSuica決済イメージ

ぐるなびタッチ(新端末)の特徴

- ・Android™を搭載したタブレット型端末としては「初めて」Suica決済を実現しました。
- ・ぐるなびタッチ(現行端末)の後継機です。
- ・本端末一台で、「ぐるなび」のポイントサービスとSuica決済に対応可能です。